

令和6年度 粟ノ保小学校だより

令和6年6月7日 NO.5



ひまわり

羽咋市立粟ノ保小学校
校長 田中 利弘

スローガン【すべては 子どもたちの 輝く未来のために】

◇全校集会：校長の話◇

6月の声を聞き、1学期も後半です。新鮮な気持ちで迎えた4月のことを今一度思い出してほしいです。新しい学年になり、「がんばること」「立てた目標」「そのためにはどうしたらよいか」という作戦。自分でふり返って、「出来ていること」「出来ていないこと」を整理してみることが大事ではないですか。志を高くもち、日々の積み重ねです。

さて、全国的に梅雨(つゆ)の季節となりました。今月の校長の話として「天気予報」について話しました。天気予報は、皆さんにとっては当たり前です。そして、世の中の仕事の7割以上は天気予報によって影響を受けていると言われています。つまり、明日の天気、一週間後の天気を知りたい方が大勢います。天気予報って「どうしてこんなに当たるようになったの」を紹介しました。



明治時代(今から140年前)、今の気象庁の前身である東京気象台が毎日3回の予報を開始しました。そして、日本一の「富士山頂」に観測所をつくらないと天気予報は当たらないんだと、その当時は考えられない、富士山頂に観測所を作るという無謀な挑戦をした男がいました。

その後、富士山レーダー、気象衛星ひまわりへと引き継がれていきます。



石川県では、金沢地方気象台、輪島には高層気象観測所(前身は輪島測候所)があり、今でも高層の気象データを観測しています。アメダスも名前を聞いたことがある子が大勢いました。データを集めてスーパーコンピューターが計算して「天気予報」を出すのです。ここでも、スーパーコンピュータ(略してスパコン)開発でもたくさんの物語があります。このように、今の世の中で便利で有り難いものは、今までの先人が研究してきたものです。エジソンも1万回以上実験をしながら電気を発明した話も以前話をしました。人の役に立つ発明はこれからも続くのです。

さて、粟ノ保っ子の中で、社会に役立つ研究発明をする子が今後出てきてほしいですね。

裏面あります

◇イングリッシュキャンプ：6年生◇

羽咋市は、「英語教育」を推進しております。具体的には、小学校卒業時までに英検5級取得を掲げています。本校でも週1の粟ノ保タイムを利用して英検5級をめざしています。すでに合格している子は4級取得をねらって学んでいます。小学生は特にリスニングに力を入れないといけませんね。そのため普段から継続して取り組んでいかなければなりません。

このイングリッシュキャンプも国立能登青少年交流の家と連携しながら定着してきました。このキャンプでは、英語を話すこと聞くことを意識し、日本語を極力話さない趣旨で行われています。

今回も粟ノ保小、瑞穂小、西北台小の3校合同での実施でした。来年は羽咋中学で同級生になります。顔見知りになれたのはよい機会でした。



◇ちょっと親学◇

「子どもをご褒美でつってはいけないのか?」。よく耳にする話題です。保護者の皆さんはどうでしょうか。今回は、『学力』の経済学 中室牧子氏から引用して紹介します。

人間は、目先の利益や満足をつい優先してしまいます。目の前にご褒美がぶら下げられると、今勉強することの利益や満足が高まり、それを優先します。「目の前のにんじん」作戦は、勉強することを先送りさせない戦略なのです。①「テストでよい点を取ればご褒美」 ②「本を読んだらご褒美」。この2つの戦術は、どちらのご褒美が効果的なのでしょうか。迷うでしょうか。ご褒美は、「テストの点数」などのアウトプットではなく、「本を読む」「宿題をする」などのインプットに与えるべきだそうです。そして、そのご褒美を「いつ与えればよいのでしょうか」がポイントです。

○→1時間の勉強が終わった後にご褒美という方がよいそうです

×→テストでよい点を取ったら、今度のお誕生日にご褒美のパターンはダメつまり、遠い将来にご褒美ではなく、近い将来に与えるのが効果的だそうです。

また、「勉強しなさい」はエネルギーの無駄遣いともおっしゃっています。

「勉強しなさい」は効果が無く、特に母親が娘に対して言うのは逆効果だそうです。逆に、「勉強しているのを見ている」「勉強する時間を決めて守らせている」は、かなり効果が高く、男の子なら父親が、女の子なら母親が関わるとよいそうです。

さて、本の内容を紹介しましたが、皆さんはどう感じたでしょうか。

「なるほどねえ」「そうかな?」と思いは様々ですね。

どうぞ、ご家庭で工夫されることを期待しております。

